

速報

2022年4月28日

Westwood Shipping Lines の Swire Shipping への売却について (ニュースリリース)

ワシントン州ピュアラップー北太平洋・東アジア間において独立した海運会社である Westwood Shipping Lines (以下、「ウエストウッド」) は、本日、株式会社住友倉庫 (以下、「住友倉庫」) の子会社である J-WeSco Ltd. (以下、「ジェーウェスコ」) が、米国を拠点とする同社をアジア太平洋地域の大手定期船運航会社である Swire Shipping (以下、「スワイヤー社」) へ売却する最終合意に署名したことを発表しました。

1980年に設立されたウエストウッドはワシントン州ピュアラップに本社を置き、ワシントン州・ブリティッシュコロンビア州の各港と日本、韓国、中国の市場を結ぶニッチな運航会社としてサービスを行っています。ウエストウッドの社長兼最高経営責任者であるジャック・マホニー氏によると、住友倉庫は、倉庫業、港湾運送業、不動産業、物流業というコアビジネスに集中するための企業戦略の一環として、同社を売却することです。今回の売却は、規制当局の承認手続きを経て正式に完了となります。

マホニー社長は「これは誰にとってもウィン・ウィンとなります。ウエストウッドは今後、長い歴史を持ち太平洋で広く事業を展開している海運会社が所有する会社となるからです。ウエストウッドが海運会社の所有となり、スワイヤー・グループの一員となることをうれしく思います。」とコメントしました。

スワイヤー社によると、この買収は同社の定期サービスネットワークを拡大すると同時に、多くのサービスを縦割りに統合するという成長戦略を補完するものです。スワイヤー社社長であるジェームス・ウッドロー氏は、次のように述べています。「長年にわたり、私たちはこの地域での存在感を強化することを模索してきました。その優れた安全基準、高品質、荷役能力、および長期的な顧客との関係を持つウエストウッドが強力な選択肢として浮上しました。私たちはウエストウッドを健全なビジネスの根源として構築し、ライナーネットワークを拡大することを楽しみにしています。」

スワイヤー社の最高執行責任者であるジェレミー・サットン氏は、最後に次のように述べています。「買収完了後もウエストウッドは現行の力強いプロフェッショナルなサービス体制を維持し、社名もそのままです。」

ウエストウッドのマホニー社長は「ウエストウッドのこの新しい歴史の始まりに高揚しており、スワイヤー社との明るい未来を楽しみにしています」と結びました。

(備考)

1. ウエストウッドについて

ウエストウッドは北太平洋と東アジアに特化した単独の船舶オペレーターです。そのきめ細かなサービスと多様性、加えて信頼のおけるスケジュール、優れた荷役技術及び顧客の貨物への安全輸送により信頼を培っています。

特大貨物、コンテナ、ブレイクバルク、林産物等は全て同じウエストウッド船にて取扱われています。その柔軟な船の設計により、あらゆるタイプの貨物を安全で効率的に取扱うことが可能です。

住友倉庫の子会社であるジェーウェスコは、2011年にウェアハウザー社からウエストウッドを買収しました。詳細については、www.wsl.comをご覧ください。

2. スワイヤー社について

スワイヤー社は、事業を展開する地域の貿易を促進し、成長させることに尽力しています。アジア太平洋地域において、高頻度の定期船サービスを提供しプロジェクトカーゴ、重量物輸送、冷蔵輸送、ブレイクバルク、ミニバルク貨物等の広範囲に亘り専門的な対応を行っています。

アジア太平洋のみならず世界中で400以上の港を結ぶサービスを提供し、全世界で代理店ネットワークを維持し、アジア太平洋、太平洋諸島、北米、ヨーロッパにおいて、顧客に献身的なサービスと専門的な市場知識を提供しています。詳細については www.swireshipping.com をご覧ください。

以上